

学籍番号

8

1. 血糖値について説明しなさい。

血糖値とは、血液中の(グルコース)濃度のことで、正常値は(70 ~ 100)mg/dl未満である。

2. HbA1cについて説明しなさい。

・HbA1cは、赤血球中の(ヘモグロビン)に(糖)が結合している割合のことで、正常値は(4.6 ~ 6.2)%である。

・ヘモグロビンの寿命は(20)日間であるため、HbA1cは検査日の(2~3ヵ月)前の血糖値を示している。

・糖尿病の診断基準で、HbA1cは(6.5)%以上となっている。

3. 糖尿病の3大合併症を書きなさい。

(糖尿病性神経障害)、(糖尿病性網膜症)、(糖尿病性腎症)

小テスト 8/8

① -1 1/4

① -2 1/4

① -3 1/4

② 1/3

③ 1/4

④ 1/8

⑤ 1/4 69

⑥ 1/10 69

2024 年度 成人看護学援助論 I

問1. 代謝疾患の特徴について以下の文章の () に当てはまる言葉を下欄 a ~ t の中から選んでください。

糖尿病は (^{インスリン} ①) 作用不足によって生じる慢性高血糖で代表される代謝異常である。高血糖が持続すると (^{口渇} ②)、(^{多飲} ③)、(^{多尿} ④)、(^{体重減少} ⑤) などの典型的な症状をきたし、重症例では (^{ケトアシドーシス} ⑥) や昏睡にいたることもある。糖尿病の治療では、血糖コントロールとともに (^{体重} ⑦)、(^{血圧} ⑧)、(^{血清脂質} ⑨) を良好にコントロールすることも大切である。合併症予防のための血糖コントロール目標は、(^{7.0} ⑩) %未満である。

- | | | | | | |
|----------|--------|--------|---------|--------|-------------|
| a. グルカゴン | b. 口渇 | c. 低血糖 | d. 体重減少 | e. 肥満 | f. インスリン |
| g. シックデイ | h. 脱水 | i. 体重 | j. 多飲 | k. 合併症 | l. ケトアシドーシス |
| m. 頻尿 | n. 高血糖 | o. 血圧 | p. 7.0 | q. 多尿 | r. 血清脂質 |
| | | | | s. 尿酸 | t. 6.5 |

答え① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()
⑥ () ⑦ () ⑧ () ⑨ () ⑩ ()

※②、③、④、⑤は順不同可 ※⑦、⑧、⑨も順不同可

問2. 2型糖尿病の特徴について、正しいものを2つ選んでください。

- a. 家族歴のある患者には、膵島関連自己抗体の陽性率が高い ^{⇒ 1型}
- b. 診断されたら、直ちにインスリン治療を開始する ^{⇒ 1型}
- c. 高血糖が続くと、ブドウ糖毒性による悪循環により病態が悪化、進展する
- d. 2型糖尿病患者は年々増加し、糖尿病症例の約80%を占める ^{80%}
- e. 40歳以降で発症することが多いが、最近では若年発症も増えてきている

答え () ()

問3. 糖尿病の慢性合併症のうち細小血管合併症（いわゆる三大合併症）をあげてください。

(^{糖尿病網膜症}) (^{糖尿病性腎症}) (^{糖尿病性神経障害})

問4. 糖尿病患者の感染予防の留意点について、間違っているものを1つ選んでください。

- a. 口腔内や皮膚を清潔に保つ
- b. 白癬の治療
- c. 足の観察とフットケア
- d. 糖質のとりすぎを制限する
- e. 抜歯などの時は糖尿病であることを伝える

答え ()

問5. 脂質異常患者の生活指導について、適切なものを2つ選んでください

- a アルコールの過剰摂取を控え、50 g/日以下に抑える
- b コレステロール摂取量は200mg/日未満にする
- ☒ c 脂質異常症の療養に取り組むことは、心筋梗塞などの動脈硬化性疾患の発症予防につながることを説明する
- ☒ d 喫煙は動脈硬化やがんのリスクになるので、患者には禁煙を勧めるが、受動喫煙はそれほど影響はない
- ☒ e n-3系多価不飽和脂肪酸の摂取をへらす

答え (c) (d)

問6. 糖尿病の合併症と指導内容の組み合わせで適切なものを2つ選んでください。

- a 単純網膜症 12ヶ月に1回の眼科受診
- ☒ b 糖尿病腎症第4期 タンパク質制限
- c 糖尿病神経障害 フットケア
- d 動脈硬化性疾患 運動制限

答え (b) (c)

問7. 糖尿病の運動療法について、正しいものを2つ選んでください。

- ☒ a. 運動の慢性効果として、インスリン抵抗性が改善する
- ☒ b. 患者が元気そうであれば、医師によるメディカルチェックは必要ない
- c. 日常生活でもこまめに身体を動かす、長時間座っていないようにする、エレベーターを使わない、なども大事である
- d. 運動した分、余計に食べることが出来る
- ☒ e. 糖尿病腎症がある場合は、バルサルバ運動（息をこらえて力む運動）は行わない

答え (a) (b) (e)

問8. インスリン療法の指導について、間違っているものを2つ選んでください。

- ☒ a. インスリン製剤により作用発現時間や作用持続時間が異なり、それぞれのインスリンに合った指導が必要である
- ☒ b. インスリンは未開封のものは常温保存で良いが、使用開始後は冷所保存する
- c. 注射に適した部位は、吸収の早い順に、腹部、上腕部、臀部、大腿部である
- ☒ d. 空打ちは、注射器内の空気抜き以外に、作動確認のために重要であるので注射の前には毎回必ず実施する
- ☒ e. インスリンと注射針は、飛行機の機内に持ち込むことはできない

答え (b) (d)

$$\begin{array}{r} 3.4584 \\ \times 22 \\ \hline 69168 \\ 69168 \\ \hline 69168 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1.72 \\ \times 1.72 \\ \hline 344 \\ 1204 \\ \hline 29584 \end{array}$$

~65 22

$$\text{身長(cm)} \times \text{身長(cm)} \times 22$$

【症例問題Ⅰ】

Aさん 50歳 男性 身長 172 cm 体重 80 kg 営業職

今年受けた健診で、空腹時血糖値が 125mg/dl であり、医療機関の受診をすすめられて朝絶食で来院された。

問9. Aさんの標準体重を計算式も含めて算出記載してください。

式 : ()

答え : () kg (※小数点以下切り捨て)

$$\begin{array}{r} 1.72 \\ \times 1.72 \\ \hline 344 \\ 1204 \\ \hline 29584 \end{array}$$

問10. Aさんは糖負荷試験を受けることになり、検査の予約を取るように医師から看護師に指示がありました。糖負荷試験 (75gOGTT) 時の注意事項について、正しいものを2つ選んでください。

- a. 検査開始までに15時間以上の絶食が望ましいため前日の夕食は摂らないよう指導する。
- b. 検査3日前から前日まで炭水化物を制限する。
- c. 検査終了まで水以外の摂取は禁止し、なるべく安静を保たせ、検査中は禁煙とする。
- d. 採血は、空腹時とブドウ糖液飲用後 (負荷後) 120分に行う。
- e. 検査は2時間程度要するため、午前9時頃に開始することが望ましい。

答え () ()

直ぐ、30・60・120

【症例問題Ⅱ】

Bさん 62歳 女性 身長 154cm 体重 55kg

40歳時に1型糖尿病を発症し、超速効型インスリン (朝 10単位・昼 8単位・夕 8単位)、持効型インスリン (夕 12単位) で治療中。先月のHbA1c 7.8%であった。本日は受診日で、9時に採血をして待合室で診察を待っていたところ気分不良を感じたため、看護師に声をかけた。看護師が血糖測定したところ、血糖値 60mg/dl であった。

問11. 外来看護師がまず行うべき対処法は何か。1つ選んでください。

- a 「診察まであと少しだから」と処置室のベッドで横になってもらう
- b ブドウ糖 10g を服用してもらう
- c 生理食塩水の点滴を開始する
- d 本日の昼のインスリンは、打たないよう指導する

答え ()

お疲れ様でした！

成人看護学援助論 I

2024.10.17

学籍番号	点数
氏名	46 点

問 1	① f	② b	③ d	④ j	⑤ q
	⑥ l	⑦ i	⑧ o	⑨ r	⑩ p

※②③④⑤は順不同 ※⑦⑧⑨も順不同

問 2	c	e
-----	---	---

問 3	糖尿病性神経障害
	糖尿病性網膜症
	糖尿病性腎症

問 4	d
-----	---

問 5	a	c
-----	--------------	---

問 6	b	c
-----	---	---

問 7	a	e
-----	---	--------------

-4

問 8	b	e
-----	---	---

問 9	式 $1.72 \times 1.72 \times 22$
	答え 65 kg

問10	c	e
-----	---	---

問11	b
-----	---